

## 令和 2 年度

## 児童生徒のスポーツ実態調査についての報告

## 1 調査趣旨

柏市内の小中高生を対象に、児童及び生徒のスポーツへの関心・意欲や行動実態の把握を目的にアンケート調査を実施

## 2 実態調査の方法

## (1) 対象者の抽出

## ①回答数

回答数は、770件

## ②抽出母集団

小学生6年生、中学2年生、高校2年生

## ③抽出条件

柏市第五次総合計画のゾーン区分に基づき、市内を偏りがないよう「北部」「中央」「南部」「東部」の4つに区分し、各ゾーンから小学校3校、中学校2校を、高等学校1校を選定。各校1クラスにて調査対象者を抽出した。

## (2) 調査方法

①各学校にてホームルーム等の時間を活用して調査票に回答。各調査票は学校経由で郵送等により回収。

## ②無記名回答

## (3) 調査期間

令和2年9月11日(金)～令和2年9月25日(金)

## 3 実態調査の内容

アンケート調査内容の概要は以下のとおり

①スポーツへの関心・意欲や実施状況に関すること：問2～4, 7

②スポーツ実施状況の背景：問5, 6

③ホームタウンチームの観戦：問8

④市やホームタウンチームによるスポーツ教室：問9

⑤自由意見記入：問10

4 調査結果概要及び分析

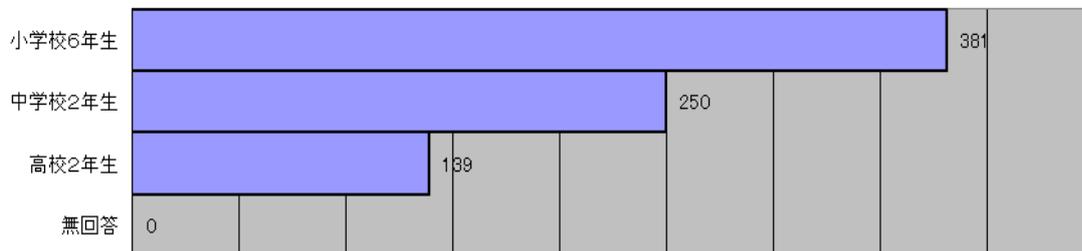
(1) アンケート調査の概要

これまで、本市では、児童生徒のスポーツに関する実態を把握するためのアンケート調査を実施している。後述のデータは、令和 2 年 9 月に実施した調査を基本に、平成 1 8 年度の計画策定時の調査及び平成 2 2 年度の計画見直し時、平成 2 7 年年度の計画改定時のアンケート結果を比較したものであり、児童生徒のスポーツに対する意欲や実施状況等について整理したものである。

図表 1 - 1 アンケート調査の推移

対象者	市内の小学生, 中学生, 高校生			
抽出	小学校9校中学校 6校高校3校,	小学校8校中学校 5校高校2校	小学校9校中学校 6校高校3校	小学校12校中学 校8校高校4校
回答数	650人	470人	595人	770人
方法	学校にて実施			
実施時期	平成18年7月	平成23年2月	平成27年4月	令和2年9月

図表 1 - 2 令和 2 年度調査の回答者の学年層



(2) アンケート調査結果

① スポーツへの関心

令和 2 年度のスポーツへの関心に関わる調査では、「するのも観るのも好き」と答えた児童生徒の割合が全体の 50.5%であり、「するのは好き」「見るのは好き」を合わせると、約 84%となる。80%を超える児童生徒が「する」もしくは「観る」、あるいは両方の観点でスポーツへの関心を持っていることがわかる。とくに学年層別にみると、小学生の「するのも観るのも好き」と回答する割合が 59.7%と過半数以上であった。

一方で、「するのも観るのも嫌い」と答えた児童生徒は全体で 4.5%と少数であった。

図 1 - 3 スポーツの関心

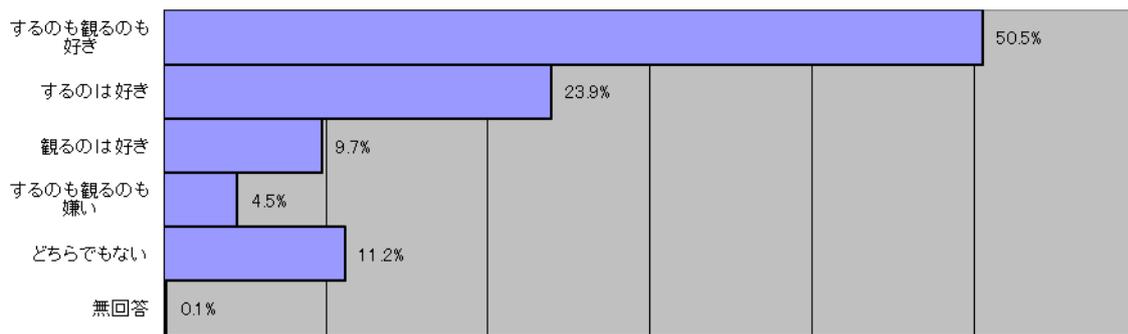
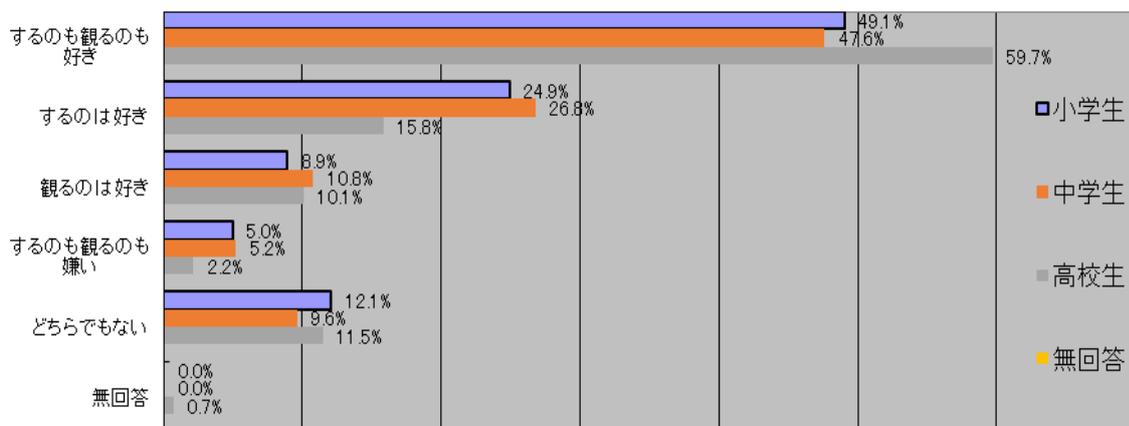


図 1 - 4 スポーツの関心(学年別)

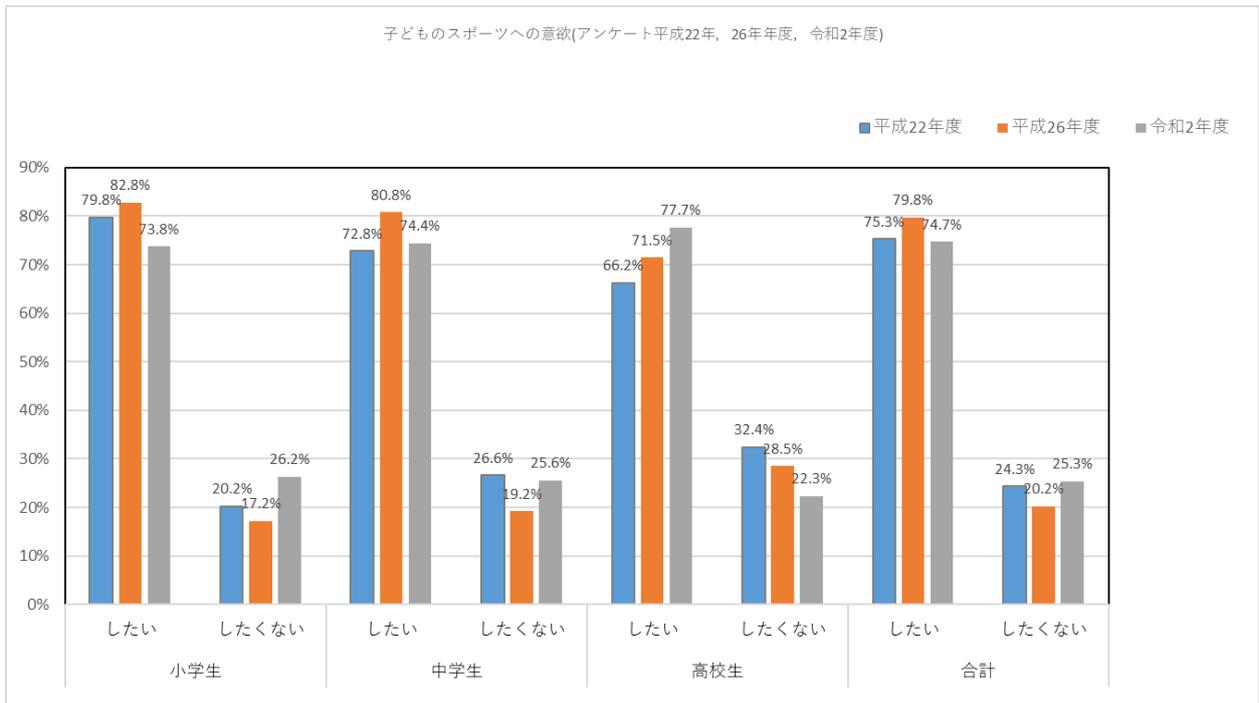


②スポーツへの意欲

「進んでスポーツ，運動をしたい」と答えた人の割合は全体で 74.7% である。平成 22 年度，平成 26 年度の調査と比べると児童生徒全体としては，スポーツへの意欲が低下していることがわかる。

各学年層ごとにスポーツへの意欲を観ると，小学生において特に意欲の低下が認められる。前回調査では 82.8%であったが，今回の調査では 73.8%と約 10 ポイントの差が見られる。高校生においては，小学生と対照的にスポーツに対する意欲が調査ごとに増加していることがわかる。

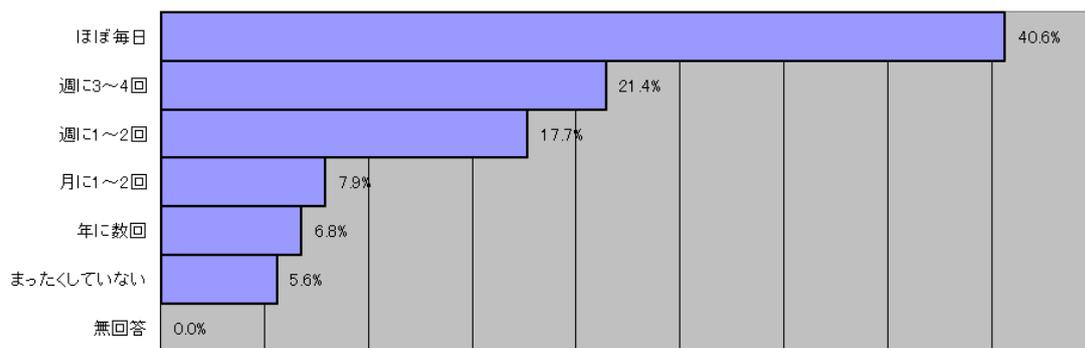
図1-4 スポーツへの意欲



③ スポーツ実施率

学校の体育授業以外で、この1年間にどのくらい運動・スポーツをしたかに関する問の回答は図1-5のとおりである。学校の授業以外で月に1回以上スポーツをしている児童生徒は全体の87.6%であった。

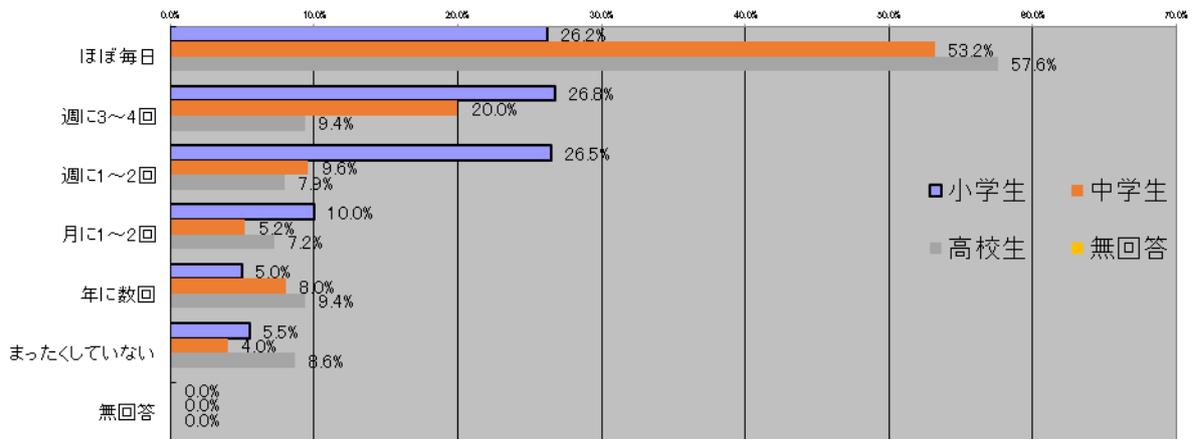
図1-5 スポーツ実施率



学年層別に比較すると、中高生は部活による影響か、ほぼ毎日と回答する児童生徒がそれぞれ53.2%、57.6%と過半数を超えているが、小学生は26.2%にとどまり小学生と中高生の間で大きな隔りがある。

「年に数回」、または「まったくしていない」は全体で12.4%である。学年別にみると小学生及び中学生は全体より数ポイント小さいが、高校生が18%と全体より約6ポイント大きい。

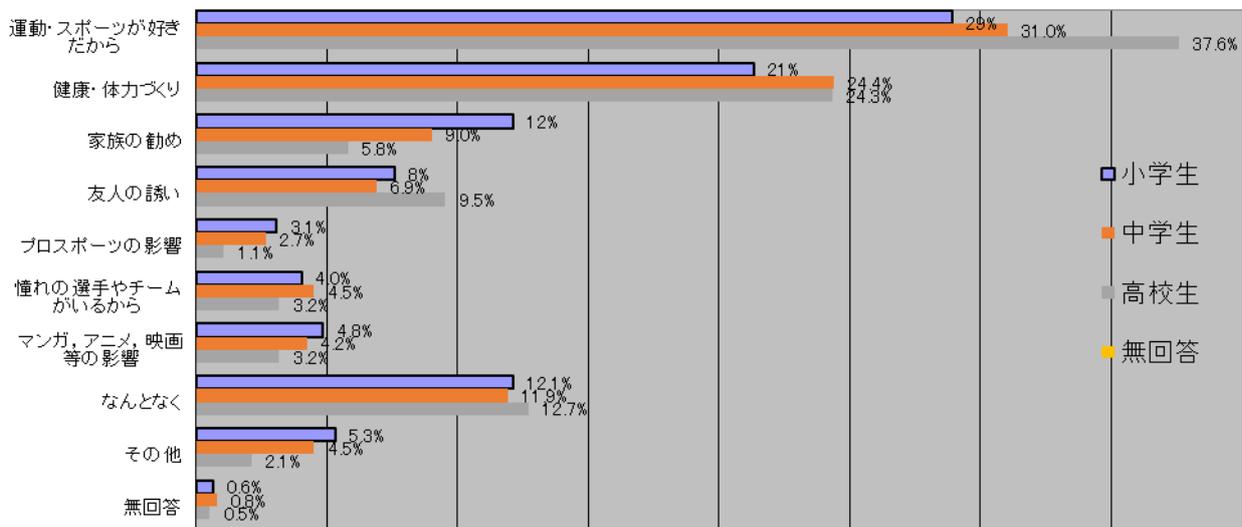
図1-6 スポーツ実施率(学年別)



④運動をする理由

「月に1~2回」以上運動している児童生徒の運動の動機については、どの学年層も「好きだから」と答える割合が一番多く、次いで、「健康・体力づくり」、「なんとなく」と続く。

図1-7 月に1回以上運動する児童生徒の運動の動機



⑤運動をしない理由

運動をまったくしない若しくは年に数回だけ実施する児童生徒の背景には、苦手意識や体力への自信のなさが目立つ。「スポーツが苦手だから」と答える児童生徒は全体で27.7%、「体力がないから」と答えた児童生徒は全体で27.1%であった。この2つの理由が全体の54.8%を占める。「場所(施設)がないから」「好きなクラブ・部活動がないか

ら」と外部環境による理由については、合わせて全体の 11.6%であった。このなかでも、とくに学年が上がるごとに、「場所(施設)がないから」と答える人の割合が大きくなることは興味深い傾向である。

図 1 - 8 運動をしない児童生徒の背景

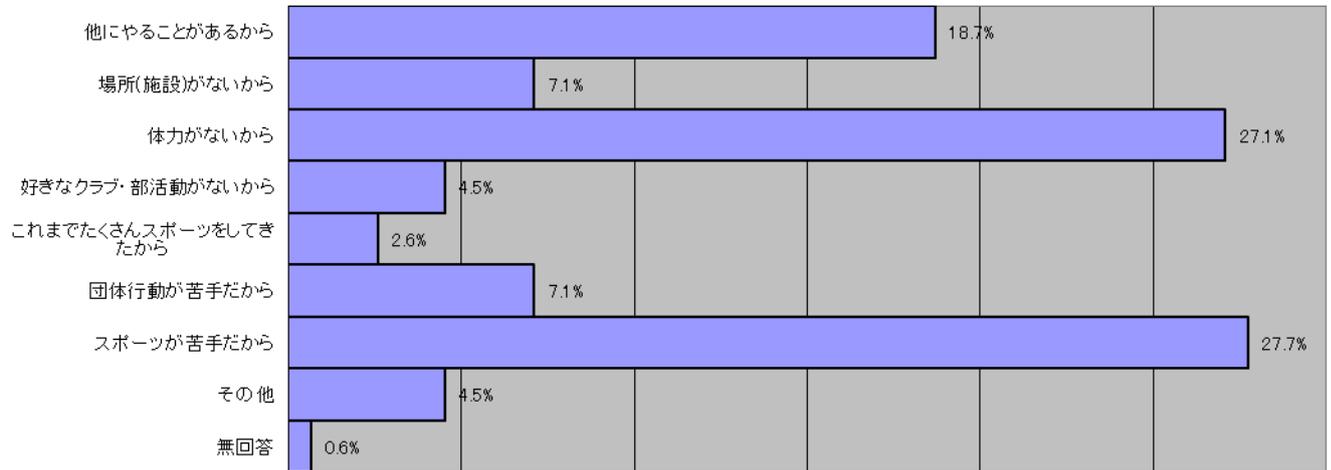
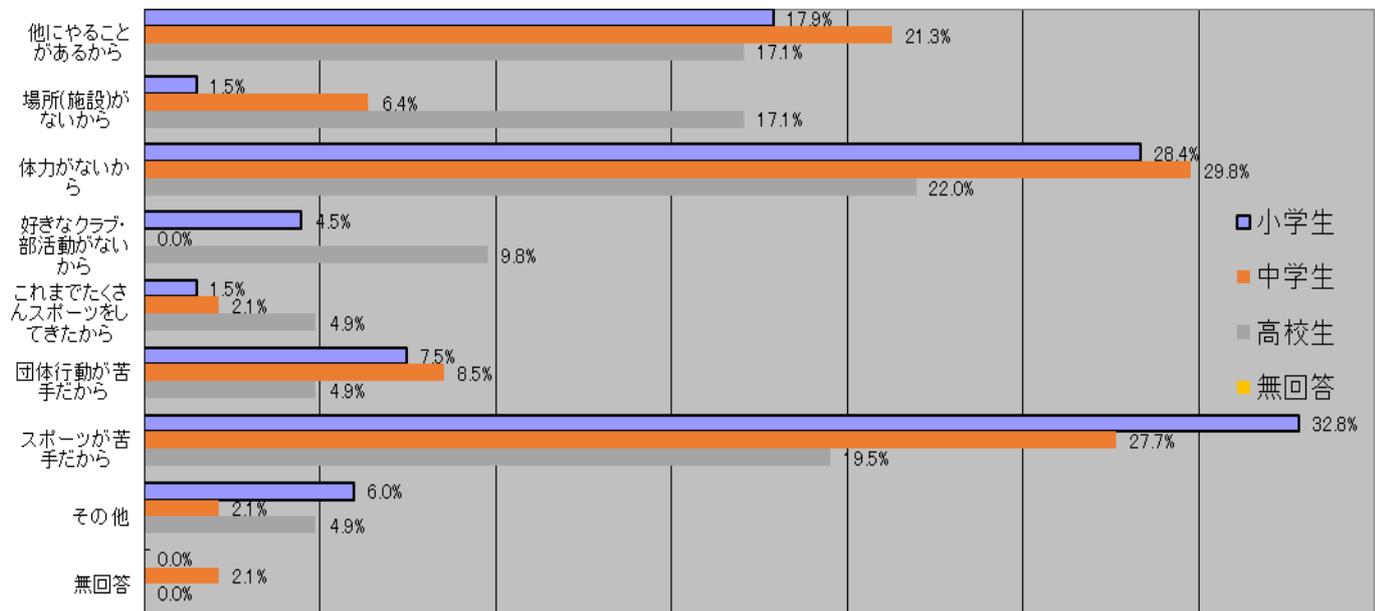


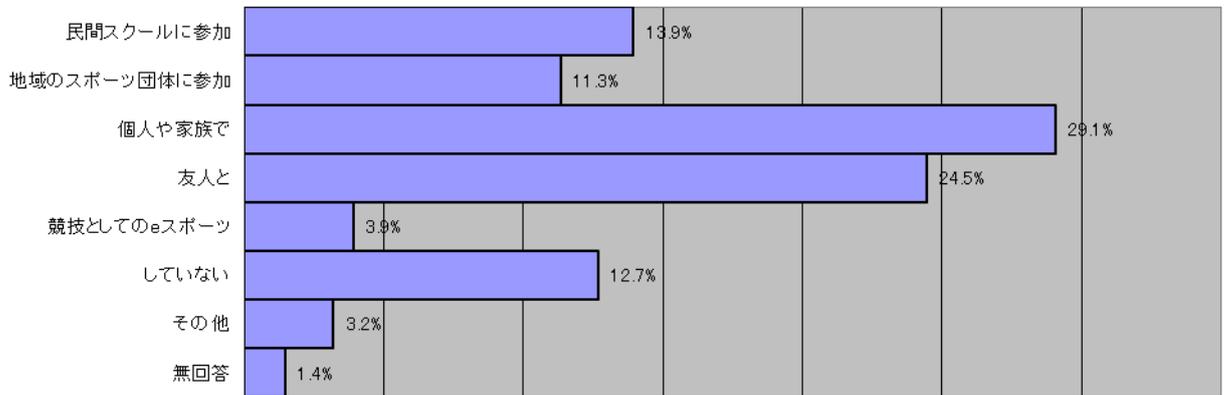
図 1 - 9 運動をしない児童生徒の背景(学年別)



⑥ どのように運動・スポーツに取り組んだか

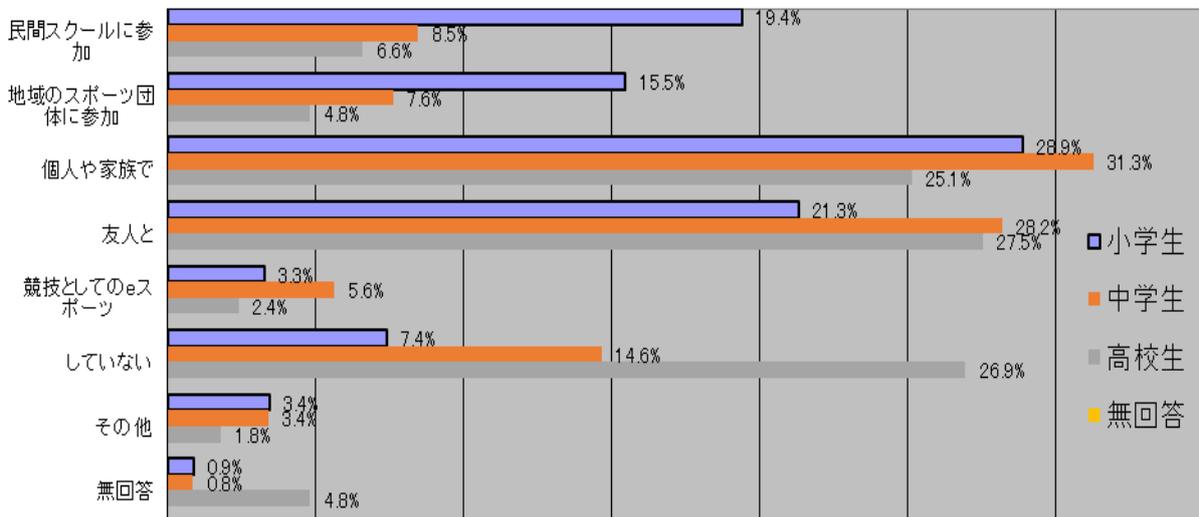
学校以外での運動・スポーツへの関わり方については、「個人や家族で」が 29.1%、「友人と」が 24.5%で、このふたつで過半数を超える。

図 1 - 1 0 運動・スポーツへの関わり方



学年層別にみても上記と同傾向にあるが、小学生は民間スクールやスポーツ団体との関わりが多く観られる一方で、中学生以上になるとこの傾向は半減する。

図 1 - 1 1 運動・スポーツへの関わり方(学年別)

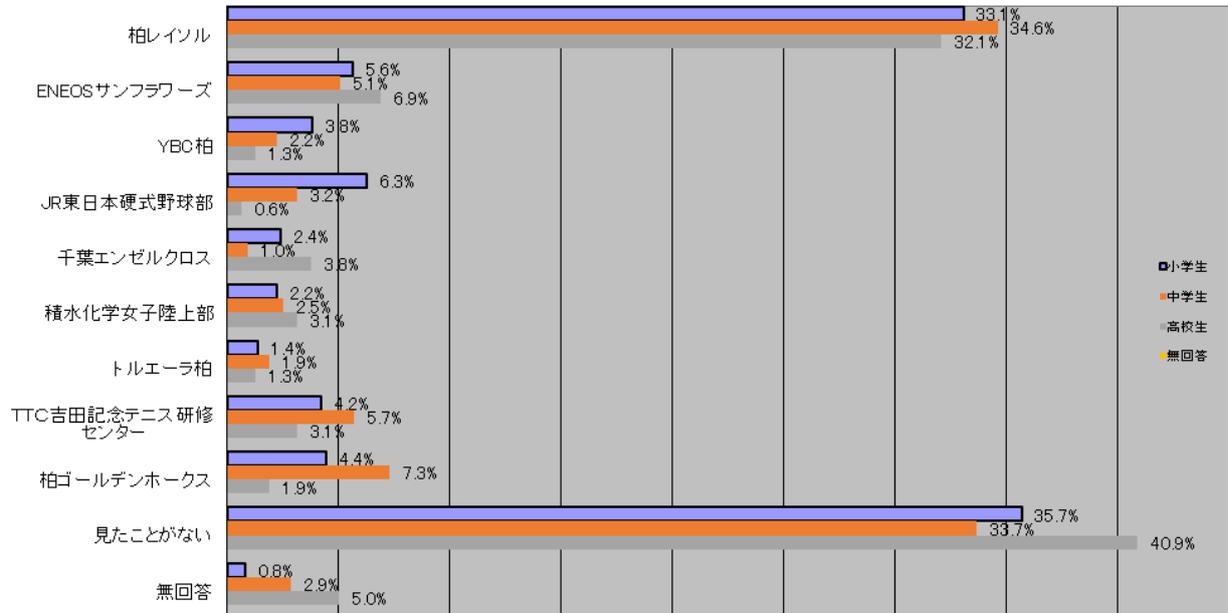


【令和 2 年度第 2 回柏市スポーツ推進審議会資料】

⑦ ホームタウンチーム観戦について

ホームタウンチームの観戦についてはどの学年層も見たことがないか、見たとしても柏レイソルの試合かの 2 極化傾向がある。

図 1 - 1 2 ホームタウンチームの観戦

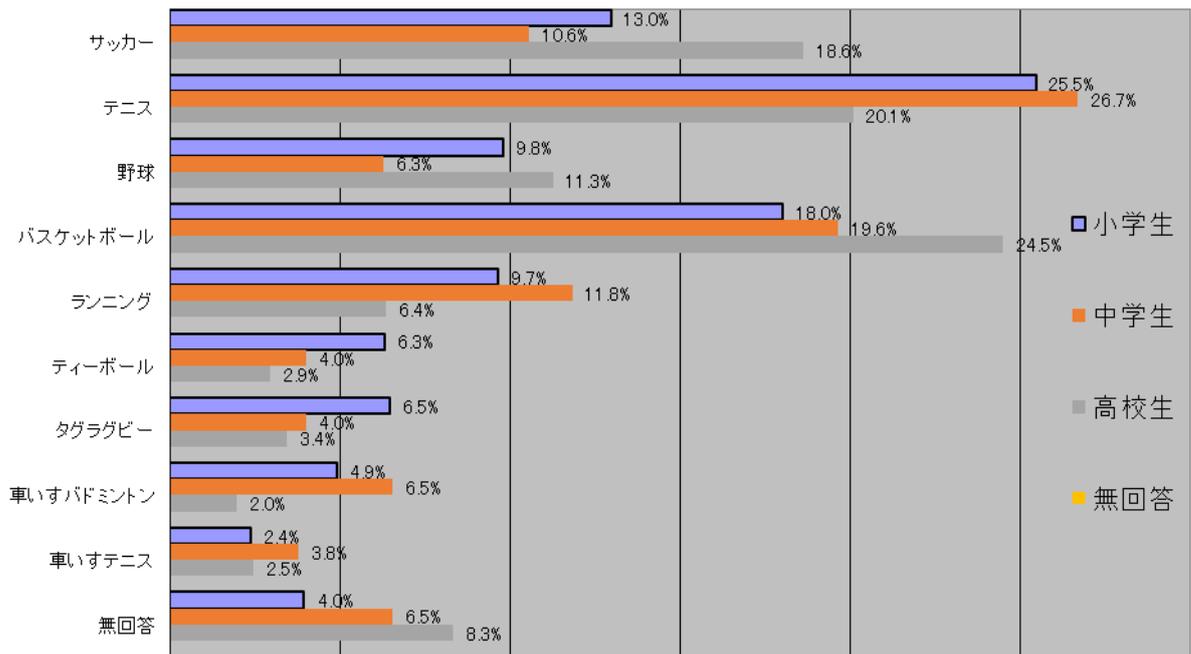


⑧ 関心のあるスポーツ教室

市やホームタウンチームが実施するスポーツ教室について、小学生はテニス 25.5%，バスケットボール 18.0%，サッカー 13.0% の順で関心を持っている。中学生はテニス 26.7%，バスケットボールが 19.6%，ランニング 11.8%，サッカー 10.6% の順で関心を持っている。高校生はバスケットボール 24.5%，テニス 20.1%，サッカー 18.6%，の順で関心を持っており、どの学年層においても、サッカー、テニス、バスケットボールの関心度が高く、そのなかでもテニスの関心度はとくに高い。これについては、テニスの全米オープン大会において日本人選手の活躍が影響した可能性も考えられる。

本市はパラリンピック東京大会において、英国車いすテニスのホストタウンであり、令和 2 年度は市内 10 校で車いすバドミントン教室を新規に行う予定である。今後、今年度からの取り組みを通じて、パラスポーツへの関心を高めたい。

図1-13 興味のあるスポーツ教室



⑨ 自由意見について

自由意見記入欄への回答数は93件であった。「学校のプールをきれいにしてほしい」「体育の授業が楽しい」など児童生徒らしい回答が多数あるなかで、「オリンピックが楽しみ」「パラスポーツを経験したい」という来年に延期された東京オリンピック・パラリンピック競技大会に言及するコメントも見られた。

自由記入欄の回答については、以下の表にまとめた。

図1-14 自由記入欄回答の概要

内容	件数
スポーツ施設や学校施設に関する要望 (例: バスケットゴールが少ないので増やしてください)	7
運動・スポーツに対するポジティブな感想 (例: スポーツは楽しいです など)	29
運動・スポーツに対するネガティブな感想 (例: スポーツは嫌いです など)	6
やってみたいスポーツ種目に関する言及 (例: いまはバレーボールをやっているけど、陸上競技をやりたい)	25
受講したいスポーツ教室に関する言及 (例: ティーボールを学校でやりたい)	2
東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関すること (例: オリンピックを柏でやりましょう)	4
その他	20